

# 病害虫発生注意報 第1号

富山県農林水産総合技術センター所長

## 斑点米カメムシ類の多発に注意！！

早生本田等における斑点米カメムシ類の生息数が多く、斑点米の多発が懸念されるため、早生の穂揃期及び傾穂期防除など、出穂期以降の本田防除の徹底が必要である。

### ◎病害虫名 斑点米カメムシ類

1 発生地域: 県下全域

2 発生程度: 多い

3 注意報発令の根拠

(1) 水稲病害虫定点調査地点における畦畔・雑草地のすくい取り(7月2日～4日)の結果、斑点米カメムシ類の確認地点率は 86.7%であり平年(63.6%)より高く、平均頭数は 7.69 頭と平年(4.18 頭)より多い。近年、特にアカスジカスミカメが急増している。

(2) 水稲病害虫定点調査地点における本田のすくい取り(7月2日～4日)では、斑点米カメムシ類の平均頭数は 0.40 頭であり平年(0.29 頭)より多い。

(3) 向こう3ヶ月の気象予報では、7月の気温は平年より高いと予想されており、水田への侵入や加害が多くなると予想される。

4 防除対策

(1) てんたかく等の早生品種は、穂揃期と傾穂期の2回の防除を確実に実施する。  
また、コシヒカリは、穂揃期の防除を徹底する。

(2) 散布後も水田内に斑点米カメムシ類が認められる場合は、さらに追加防除を実施する。

(3) 防除の際には、畦畔にも薬剤がかかるようにする。

(4) 大麦跡遊休地隣接水田では、斑点米カメムシ類の発生が多くなるので防除を徹底する。

(5) アカスジカスミカメは水田内のヒエなどの雑草を好むので、除草管理を徹底する。

(6) 畦畔雑草の穂が斑点米カメムシ類の繁殖場所となるので、穂が出ないように管理する。

※農薬散布にあたっては、事前に周辺住民等に対して、十分な周知に努め、周辺作物や住宅地等への飛散防止に努めるとともに、農薬の使用回数、使用時期等の基準を遵守する。

【参考資料】

◎ 斑点米カメムシ類生息密度調査結果

1 水稲病害虫定点調査：畦畔・雑草地

(7月2日～4日、20回すくい取り調査)

調査 地点数	アカヒゲホソミドリ カスミカメ		トゲシラホシカメムシ		アカスジカスミカメ		合 計 その他カメムシを含む	
	確認	頭数	確認	頭数	確認	頭数	確認	頭数
	地点率(%)		地点率(%)		地点率(%)		地点率(%)	
本年 45	68.2	3.75	24.4	0.44	55.6	3.24	86.7	7.69
前年 45	68.9	4.47	8.9	0.16	53.3	4.04	86.7	8.98
平年 74	48.4	2.49	18.3	0.35	9.8	0.88	63.6	4.18

※平年値は過去10年間の平均

※その他の斑点米カメムシ類はアカヒメヘリカメムシが主体

2 水稲病害虫定点調査：本田

(7月2日～4日、20回すくい取り調査)

調査 地点数	アカヒゲホソミドリ カスミカメ		トゲシラホシカメムシ		アカスジカスミカメ		合 計	
	確認	頭数	確認	頭数	確認	頭数	確認	頭数
	地点率(%)		地点率(%)		地点率(%)		地点率(%)	
本年 45	20.0	0.20	0	0	4.4	0.20	0.40	
前年 45	8.9	0.16	0	0	0	0	0.16	
平年 74	17.2	0.28	1.0	0.02	0	0	0.29	

※平年値は過去10年間の平均

問合せ先	農業研究所 病理昆虫課
TEL076-429-5249	FAX076-429-2701